

# 新型コロナウイルスオミクロン株に係る罹患後症状（後遺症）実態調査結果

令和4年12月15日  
健康福祉部

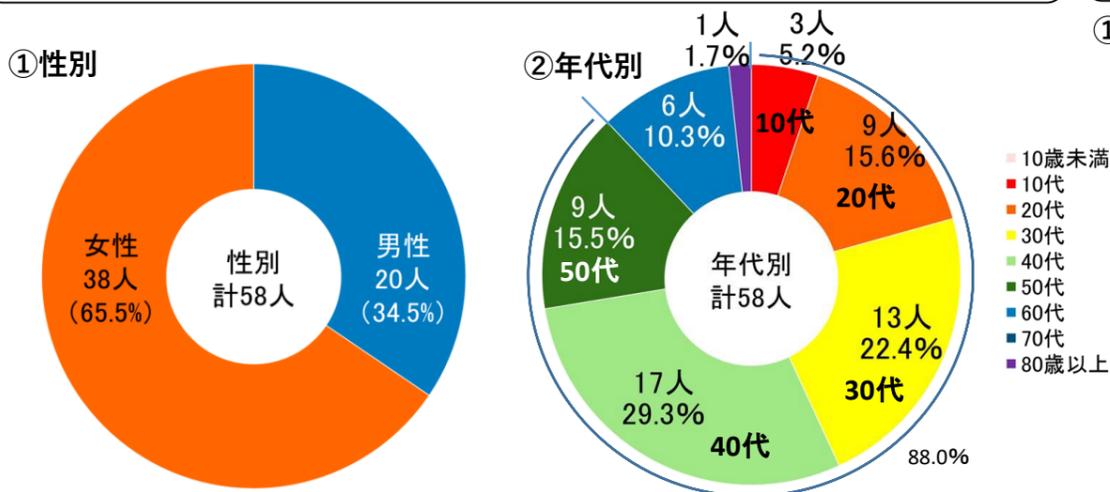
○調査期間：令和4年11月7日～11月24日  
○調査方法：【1】県内医療機関から後遺症で受診している方の状況についてメールで回答【2】県ホームページからコロナ罹患者が直接回答【3】6月に公表した実態調査の「フォローアップ調査」として、症例報告があった医療機関から、その後の状況についてメールで回答  
○回答結果：【1】20医療機関から58人【2】県ホームページからの回答のうち有効回答数249人【3】16医療機関から75人

## 1 概要

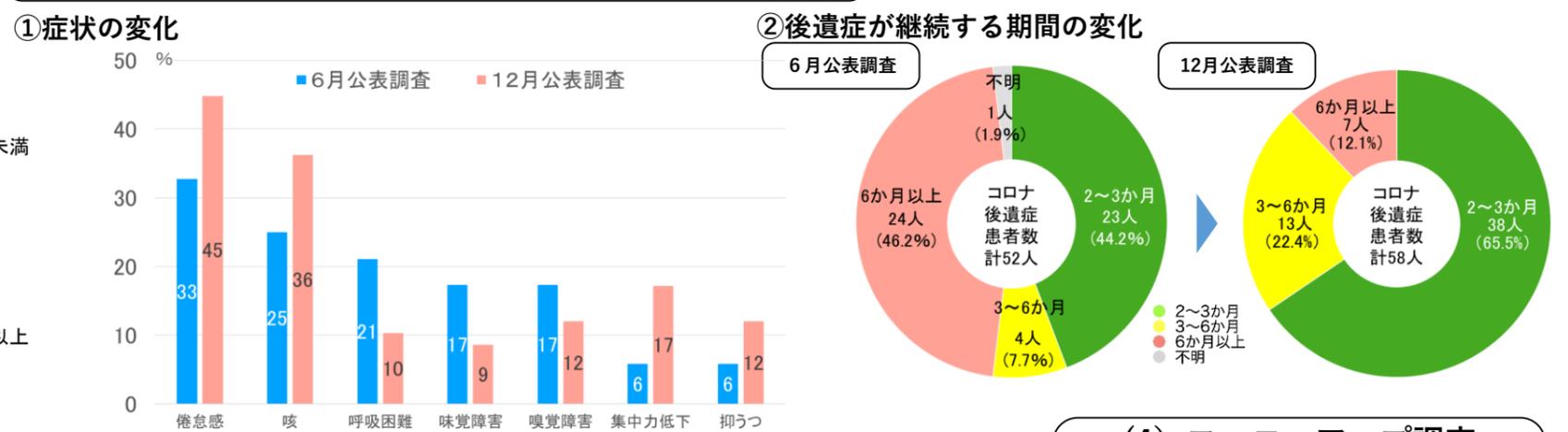
- 【1】・医療機関から回答のあった後遺症を有する58人の性別は**65%が女性**であり、**年代別では、40代が29%と最も多く、また、学業や仕事を持つ世代の10代から50代が88%**となっています。  
・主な症状では、**6月公表調査時と比べ倦怠感、咳、集中力低下、抑うつが増加し、呼吸困難、味覚障害、嗅覚障害が減少**しています。**後遺症が6か月以上継続する方は3割程度減少**しています。
- 【2】 回答のあった249人のうちコロナ後遺症に悩む方は134人で、このうち**社会生活への影響があると回答したのは72人(53%)**でした。症状別では倦怠感、咳、集中力低下など、**全ての症状で社会生活への影響がある**との回答がありました。また、社会生活への影響がある**72人のうち、仕事や学校を辞めたり、休んだりした方は39人(54%)**、**医療機関を受診していない方は27人(37%)**でした。
- 【3】 フォローアップ調査の結果、**コロナ罹患時に軽症の方18人のうち14人が回復**していました。一方で、コロナ罹患時に重症だった3名の方は、回復に至っていません。

## 2 詳細

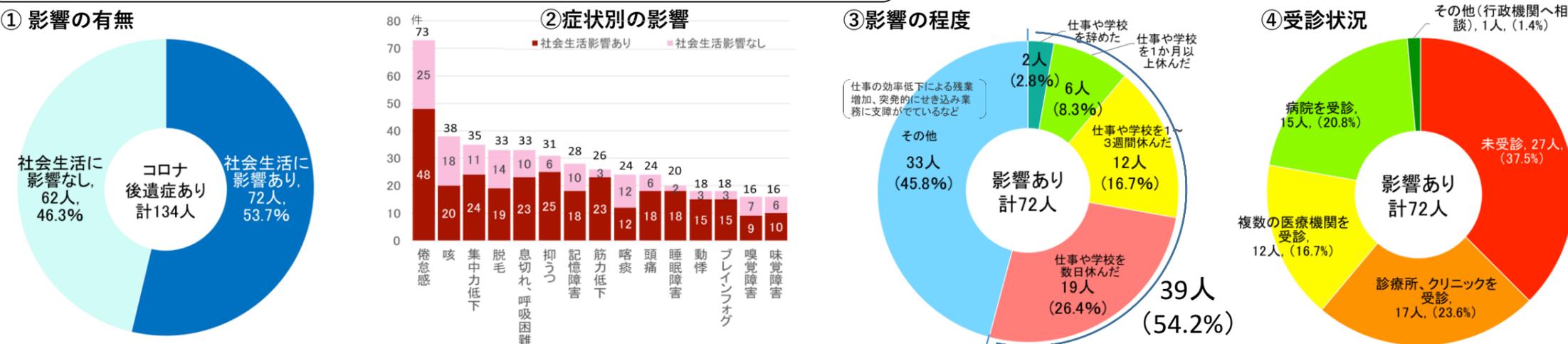
### (1) コロナ後遺症を有する方の状況（【1】医療機関からの回答）



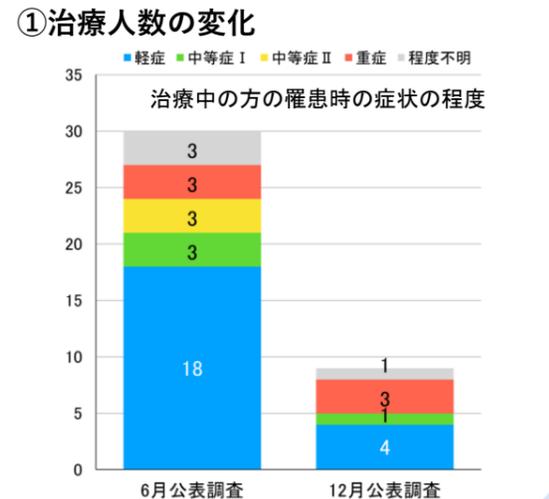
### (2) 症状や継続期間の変化（【1】医療機関からの回答）



### (3) コロナ後遺症による社会生活への影響（【2】コロナ罹患者からの回答）



### (4) フォローアップ調査（【3】医療機関からの回答）



※1人の患者が複数の症状をもっていることから、患者数と症状の合計は一致しない。

## 3 今後の対応

- 後遺症による社会生活への影響も踏まえ、**医療機関や関係団体等と情報共有を図るとともに、広く県民に周知**を図っていく。
- 新型コロナウイルスの罹患後症状に苦しむ方が円滑に**相談や受診ができるよう、コールセンターや診療可能な診療所の周知**を図っていく。
- 後遺症による社会生活への影響も考慮し、県医師会と連携し**研修会を開催するなど、医療機関の対応力向上や診療可能な診療所の更なる拡充**を図っていく。